# 神経病態解析学 セミナーシリーズ

awajiroの わがままセミナー

本セミナーは、HBS研究部・神経病態解析学分野（准教授・笠原二郎）が不定期に主宰するセミナーシリーズで、聴衆（特に若者）への刺激とブレインストーミングを目的に、ジャンルを問わず各界の最前線でユニークな活躍をされている方々をお招きし、お話して頂きます。研究部の多くの学部生・大学院生・教職員の参加をお待ちしております。

連絡先：笠原 二郎　awajiro@ph.tokushima-u.ac.jp
Tel&Fax: 088-633-7278（学内: 6256）

## シリーズ第７回　演者：多田（ただ） 智子（ともこ）　博士

大塚製薬・Qs' 研究所・研究員

## 演題：海外留学のススメ

### 開催日時：2011年6月17日（金）17:00~18:30

### 開催場所：薬学部 2F 多目的室（スタジオプラザ2F)

**多田智子博士は、東京学芸大学から東京大学の大学院に進学され、学位を取得された後に米国でポスドク経験を積まれてから、日本の製薬企業に研究職で入社されました。既に一部製薬企業は研究職を新卒採用せず、博士号取得者やポスドク経験者を採用する動きが出ており、将来このような傾向が広がることも考えられます。今後ますます個人の能力が問われる時代になってきます。研究職を目指し自分の付加価値をいかに高めるか考えている学部生・院生、留学を考えている院生・ポスドク、新しい将来を切り開きたい全ての学生の参加を期待します。**

### 講演要旨

人生は、自由に何のじゃまものもなく歩めるような、
まっすぐで楽な廊下ではなく、
通るものにとっては迷路で、
自分で道をみつけねばならず、道に迷い、わけがわからなくなり、
ときには袋小路につきあたることもある。

しかし、信念があれば、かならずや道は開ける。
思っていたような道ではないかもしれないが、やがてはよかったとわかる道が。

A・J・クローニン

私は、大塚製薬株式会社に入社して3年になります。入社前は、博士課程終了後すぐにアメリカのマサチューセッツ工科大学に4年間留学し、脳神経科学の研究を行いました。本講演では、「挑戦すれば、進みたい道は開ける」ということを、お話したいと思います。

なぜ海外留学をすすめるか？日本企業の英語公用語化にも見られるように、英語は必須になるでしょう。さらに、1ドル＝80円の超円高、スマートフォンの普及、地デジ化など，世界は絶え間なく変化して行きます。変化に対応することはとても重要であり、すばやく変化したらそれだけ成功する（問題が解決する）のも早い。海外留学は、“自分の変化が必要な状況を実感できる”とても良いチャンスなのです。私の海外留学談が皆さんの進みたい将来への刺激になれば幸いです。